

営農技術情報

発行 令和4年3月4日
第1号
たいせつ農業協同組合
営農部 農産販売課
本所 営農センター 57-2357
支所 営農センター 87-4111

融雪時期のハウスかけ作業に注意しましょう

積雪はハウス倒壊の恐れがあるので、ハウス内に支柱を立てる等の対策をし、春先の降雪に警戒しましょう。また、落雪等によるケガや事故についても十分注意しましょう。

【ハウスかけ前の除雪作業に関する注意】

- ・ 除雪機を使用する際は、周囲の安全を確認しましょう。
- ・ 除雪機を使用中に何かが詰まったり、不具合が生じたら必ずエンジンを切ってから確認しましょう。
- ・ 農機具等が盗難されないよう保管時は必ずカギを抜いて保管しましょう。



【ハウスかけ作業時の注意事項！】

- ・ ハウスの上に登る際は、十分注意しましょう。
- ・ 作業を効率良く行うため、天気の良い日に作業しましょう。
- ・ ハウスにビニールをかけた後は、周囲の除雪を心掛け、屋根に積もった雪が落ちやすいようにしておきましょう。



融雪剤散布について

【散布時期】

平均気温が -3°C 以上になると雪解けが進むので、この頃に散布すると効果的です。
(上川中央部では3月中旬頃)

【散布量】

融雪目的としてケイカル 60~90 kg/10a、土壌改良も兼ねる場合は 120 kg/10a 程度散布しましょう。

【散布方法】

薄く均一に散布するより散布ムラ（濃淡）があった方が融雪効果が高くなります。

【効果】

無散布よりも融雪期が2週間程度はやくなります。

【雪解け時期の注意】

融雪水がほ場に停滞しないように秋の溝切り跡や水尻付近が塞がっていないか確認しましょう。



農作業事故に注意しましょう

ハウス除雪・融雪材散布など、足元が悪い中での機械作業が多くなります。事前の機械点検や作業環境の確認を実施し農作業事故を未然に防ぎましょう。また、一人で作業を実施される場合は家族や周辺の方に行先を伝え、いつでも連絡が取れるよう携帯電話を持ち歩きましょう。